

赤れんが博物館 昭和100年記念企画展

「^{れんが}煉瓦の記憶 — 昭和を生きた 舞鶴^{れんが}煉瓦の物語り」の開催について

赤れんが博物館 赤れんが博物館 昭和100年記念企画展「^{れんが}煉瓦の記憶—昭和を生きた 舞鶴^{れんが}煉瓦の物語り」を開催しますので、お知らせいたします。

「昭和100年」を記念し、明治・大正期に舞鶴で築かれた赤れんが建築の変遷と、赤れんが造から鉄筋コンクリート造へと移行する昭和の激動期を生き抜いた、赤れんがの記憶と再発見の物語を紹介いたします。

1. 名称 赤れんが博物館 昭和100年記念企画展
「^{れんが}煉瓦の記憶—昭和を生きた 舞鶴^{れんが}煉瓦の物語り」
2. 趣旨 明治期に最先端の建材として重用されたれんが。舞鶴にも海軍鎮守府の赤れんが倉庫群が築かれた。やがて大正末期から昭和にかけ、建築の主流は鉄筋コンクリート造へ移行する。その背景や、地元産業を支えた神崎煉瓦ホフマン窯、軍事施設から民間施設への転用など、激動の時代から現在へ続く変遷を紹介する。
展示は、①明治期 舞鶴鎮守府のれんが一近代化の象徴から終戦へ、②昭和期の建造物とれんが使用の変化、③平成から令和—赤れんがの再発見と再生、の三部構成で展開する。
3. 日時 令和8年3月28日（土）～5月6日（水・祝）会期中は無休
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
4. 場所 赤れんが博物館2階
5. 入場料 常設展示と共通 一般400円、学生150円
市内学生（在住、在学）は入館無料
6. 主催 舞鶴市立赤れんが博物館
7. 内容 展示点数 28点

